

みずほCustomer Desk Report 2023/05/26 号 (As of 2023/05/25)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	139.55
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	139.28	1.0755	149.80	1.2369	0.6542
SYD-NY High	140.23	1.0756	150.29	1.2387	0.6546
SYD-NY Low	138.83	1.0708	149.32	1.2308	0.6498
NY 5:00 PM	140.05	1.0726	150.24	1.2321	0.6506
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,764.65	▲ 35.27	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	12,698.09	213.93	日本10年債	0.4200%	0.0100%
S&P	4,151.28	36.04	米国2年債	4.5350%	0.1583%
日経平均	30,801.13	118.45	米国5年債	3.9175%	0.1016%
TOPIX	2,146.15	▲ 6.25	米国10年債	3.8222%	0.0794%
シカゴ日経先物	31,145.00	625.00	独10年債	2.4870%	0.0350%
ロンドンFT	7,570.87	▲ 56.23	英10年債	4.3720%	0.1655%
DAX	15,793.80	▲ 48.33	豪10年債	3.6930%	0.0640%
ハンセン指数	18,746.92	▲ 369.01	USDJPY 1M Vol	10.80%	0.03%
上海総合	3,201.26	▲ 3.49	USDJPY 3M Vol	10.53%	0.14%
NY金	1,943.70	▲ 20.90	USDJPY 6M Vol	10.54%	0.11%
WTI	71.83	▲ 2.51	USDJPY 1M 25RR	▲1.55%	Yen Call Over
CRB指数	258.49	▲ 4.21	EURJPY 3M Vol	9.95%	0.18%
ドルインデックス	104.25	0.36	EURJPY 6M Vol	10.25%	0.18%

東京	東京時間オープン前に米格付会社から米債を格下げする可能性が示唆されると、139円台半ばから138.83まで急落。その後139円台前半まで値を戻し139.28レベルでオープン。序盤から5・10日のドル買いに支えられたことや、日本株がプラス圏で推移したこともありドル円は139.70まで上昇。終盤にかけてはやや押し戻され139.50レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、139.50レベルでオープン。本日もドル高が継続で139円台中盤でもみ合い、139.57レベルでNYに渡った。米株先物が堅調に推移する中で欧州株は反発が見られず引き続きリスクオフの様相だった。
ニューヨーク	NY市場のドル円は139.57レベルでオープン。オープン直後は139.19まで下落する場面もあったが、朝方に発表された米第1四半期のコアPCE(改定値)が予想を上回り、市場はドル買いで反応。同時に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想より良好な結果もドル買いをサポートし、139円台後半まで上昇。その後は小幅反落するも、米金利上昇と共に139.90台まで上昇。午後は高値圏での推移が続き、約6か月ぶりに140円台に乗せ、年初来高値の140.23まで更新し、その後140.05レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。独第1四半期のGDP(確報値)が予想を下回り、前期比0.3%減といった内容から、2期連続のマイナス成長となり、リセッションに陥ったとの見方が示され、ユーロ売りが優勢となり1.07台前半まで下落する。その後1.0720近辺を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0733レベルでNYオープン。朝方は先述の強い米経済指標の内容を受け、ドルが買われ安値の1.0708まで下落する。その後は独金利金利上昇を受け、1.0730台まで値を戻す。午後は1.0720近辺を挟んだ狭い推移が続き、1.0726レベルでクロス。

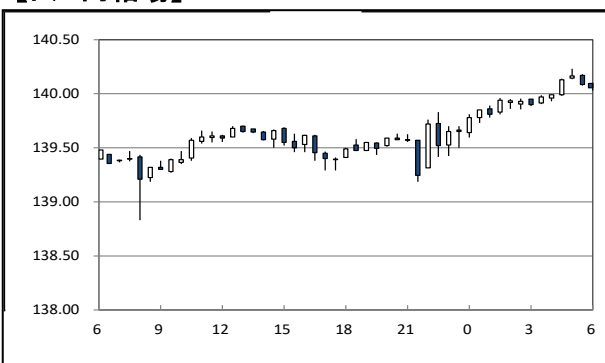
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松永・原田

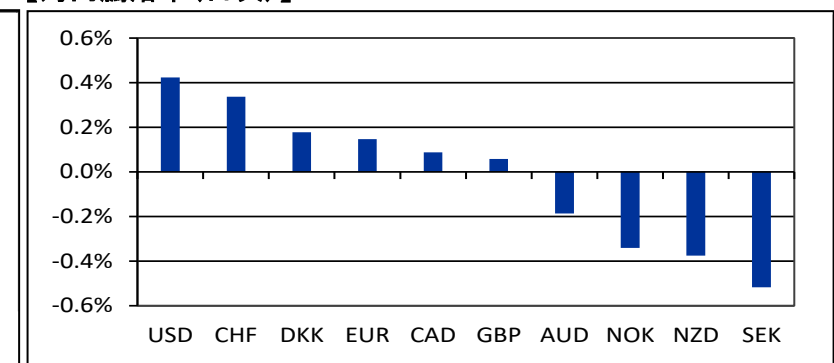
【昨日の指標等】						
Date	Time	Event			結果	予想
5月25日	15:00	独	GDP(前期比)・確報	1Q	-0.3%	0.0%
	21:30	米	シカゴ連銀全米活動指数	4月	0.07	-0.20
	21:30	米	新規失業保険申請件数	20-May	229k	245k
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	1Q S	1.3%	1.1%
	21:30	米	個人消費	1Q S	3.8%	3.7%
	21:30	米	コアPCE(前期比)	1Q S	5.0%	4.9%

【本日の予定】						
Date	Time	Event			予想	前回
5月26日	08:30	日	東京CPI	5月	3.4%	3.5%
	08:30	日	東京コアCPI	5月	3.4%	3.5%
	08:30	日	東京コアコアCPI	5月	3.9%	3.8%
	10:30	豪	小売売上高(前月比)	4月	0.3%	0.4%
	15:00	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	4月	0.4%/-2.8%	-1%/-3.2%
	21:30	米	PCEデフレーター(前月比/前年比)	4月	0.3%/4.3%	0.1%/4.2%
	21:30	米	卸売在庫(前月比)・速報	4月	0.0%	0.0%
	21:30	米	耐久財受注(前月比)・速報	4月	-1.0%	3.2%
	21:30	米	耐久財受注(除輸送用機器)・速報	4月	-0.1%	0.2%
	23:00	米	ミシガン大学消費者マインド・確報	5月	58.0	57.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.80-141.50	1.0700-1.0790	149.30-151.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は、海外時間に一段と円安が進行し2022年11月以来となる140円台に乗せた。東京時間オープン前に、米大手格付会社が米債の格下げの可能性を示唆したことを受け138.83まで急落。しかしすぐに持ち直すと実需のドル買いや日経平均の堅調な動きもサポートに139円台半ばまで回復。海外時間に入ってから、米第1四半期GDPや米第1四半期コアPCE(改定値)が市場予想を上回るなど、堅調な経済指標の結果を受け139円台後半まで上昇。その後もフロントエンド中心に米金利が上昇する中、ドル/円も140円台に乗せると、年初来高値の140.23まで更新し、その後140.03でクローズ。昨日、東京時間に行われた報道機関へのインタビューで植田日銀総裁は改めて大規模な緩和継続の意思を示す一方、堅調な米経済指標の結果を受け、市場はFRBによる6月利上げを50%近く織り込むなど、金融政策の乖離、金利差の拡大を受けドル円は年初来高値の更新が続く。140円という大台回復、米国が3連休前ということもあり、一旦のドル安方向への調整も入りやすとみられるが、本日公表の米経済指標が強い内容となれば一段とドル高が進行する可能性もあり、底堅い動きを予想する。債務上限問題は引き続き相場の不安定要因として残存するものの、解決に向けた進展が見られれば一段とドル高が進行する可能性もあり警戒したい。